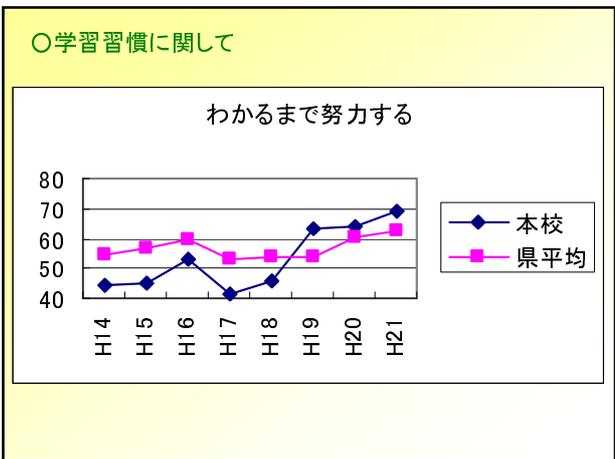
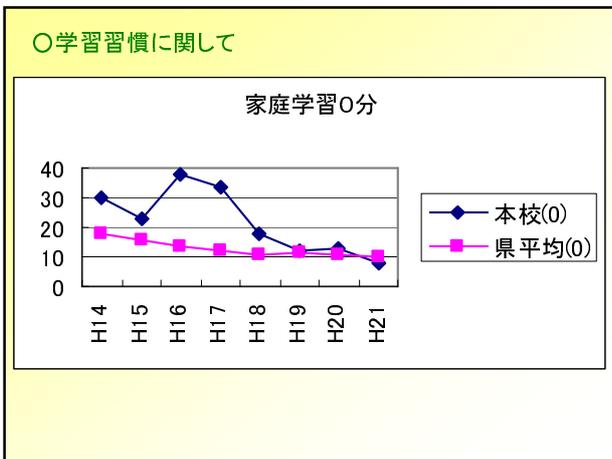
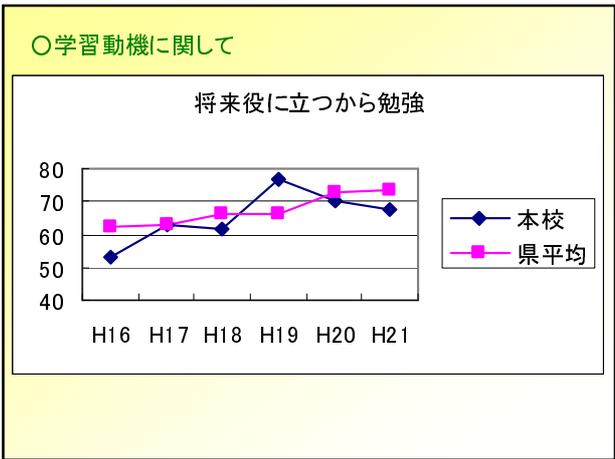
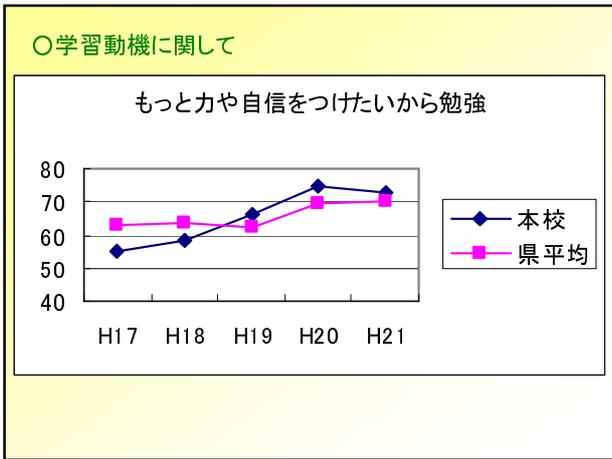




平成20・21年度
文部科学省指定校
「道徳教育実践研究事業」



幟町中の課題①

学力面の課題

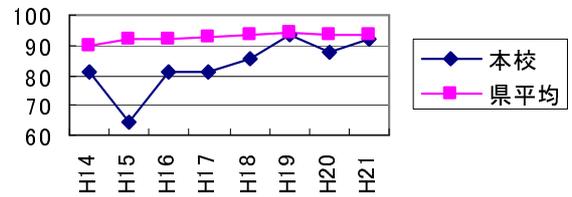
- 低位な学習意欲
- 基礎学力の低さ

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査から

- 学習動機に関して
- 学習習慣に関して

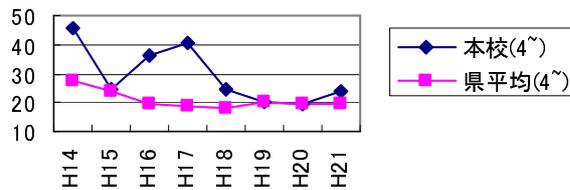
○ 朝食について

毎日朝食をとる



○ 生活習慣について

テレビやゲーム4時間以上



幟町中の課題②

健康・体力面の課題

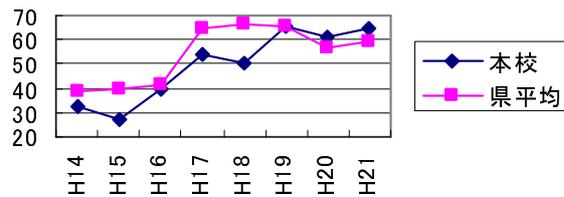
- 基本的な生活習慣の未確立
- 自己の健康・体力管理能力の低さ

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査から

- 朝食について
- 生活習慣について

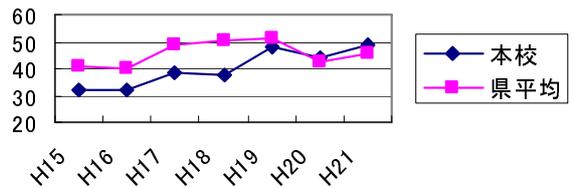
○ 自己効力感について

自分のよいところがある



○ 自己効力感について

周りから認められている



職町中の課題③

精神面の課題

- 不安定な自己肯定感
- 未熟な他者理解

平成21年度「基礎・基本」定着状況調査から

- 自己実現力について
- 自己効力感について

学力向上に向けて

その1

基礎学力の定着及び学習習慣の定着



ドリル教材の工夫・開発

自主勉強ノートの実施や宿題提示の工夫

授業評価表

ドリル教材

3年 基礎ドリル (2次計算)	題 名 表
<p>【例題】 $(x+2)(x+3) = x^2 + 5x + 6$</p> <p>① $(x+3)(x+4) = x^2 + 7x + 12$</p> <p>② $(x+4)(x+5) = x^2 + 9x + 20$</p> <p>③ $(x+5)(x+6) = x^2 + 11x + 30$</p> <p>④ $(x+6)(x+7) = x^2 + 13x + 42$</p> <p>⑤ $(x+7)(x+8) = x^2 + 15x + 56$</p> <p>⑥ $(x+8)(x+9) = x^2 + 17x + 72$</p> <p>⑦ $(x+9)(x+10) = x^2 + 19x + 90$</p> <p>⑧ $(x+10)(x+11) = x^2 + 21x + 110$</p> <p>⑨ $(x+11)(x+12) = x^2 + 23x + 132$</p> <p>⑩ $(x+12)(x+13) = x^2 + 25x + 156$</p>	<p>例題 基礎的な計算力、計算力をもたせよ。</p> <p>① $(x+3)(x+4) = x^2 + 7x + 12$</p> <p>② $(x+4)(x+5) = x^2 + 9x + 20$</p> <p>③ $(x+5)(x+6) = x^2 + 11x + 30$</p> <p>④ $(x+6)(x+7) = x^2 + 13x + 42$</p> <p>⑤ $(x+7)(x+8) = x^2 + 15x + 56$</p> <p>⑥ $(x+8)(x+9) = x^2 + 17x + 72$</p> <p>⑦ $(x+9)(x+10) = x^2 + 19x + 90$</p> <p>⑧ $(x+10)(x+11) = x^2 + 21x + 110$</p> <p>⑨ $(x+11)(x+12) = x^2 + 23x + 132$</p> <p>⑩ $(x+12)(x+13) = x^2 + 25x + 156$</p>

自主勉強ノート



自主勉強ノート (C期)

	月	火	水	木	金
3年1組	社会	英語	理科	数学	国語
3年2組	英語	理科	社会	数学	国語
3年3組	理科	社会	国語	数学	英語

授業評価表

○ 月 △ 日 (□) : 記入者 (× × × ×)					月 日 () : 記入者 ()						
時期	教科	評価	気づき	ペル書アクト	教師の授業について	時期	教科	評価	気づき	ペル書アクト	教師の授業について
1	国	A	① 先生が授業の導入をとても丁寧にして下さり、授業の進め方もとても丁寧でした。	なし	授業で基礎知識のプリント	1	A				
		B			4枚セット		B				
		C					C				
		D					D				
2	社	A	② 先生が授業の導入をとても丁寧にして下さり、授業の進め方もとても丁寧でした。授業の進め方もとても丁寧でした。	なし	基礎プリント	2	A				
		B			4枚セット		B				
		C					C				
		D					D				
3	数	A	③ 先生が授業の導入をとても丁寧にして下さり、授業の進め方もとても丁寧でした。授業の進め方もとても丁寧でした。	なし	基礎プリント	3	A				
		B			4枚セット		B				
		C					C				
		D					D				
4	英	A					A				
		B					B				
		C					C				
		D					D				
5	理	A					A				
		B					B				
		C					C				
		D					D				
6	国	A					A				
		B					B				
		C					C				
		D					D				

学力向上に向けて

その2

授業研究の方向性の共有化



読解力育成のための授業改善

小グループ活動を取り入れた指導方法の工夫

読解力育成のための授業改善

「理解」「解釈」「表現」という連続性を考えた授業展開の実施

- (例)
- (読み取る:理解)
 - I 何が書いてあるか読む。(ゆくり・繰り返し)
 - I どのように書いてあるか読む。(キーワード)
 - (読み解く:解釈)
 - II なぜそのように書いたか読む。(推察性・批判性)
 - II なぜそのように書かなかったか読む。(筆者の論理を想像する)
 - (発信する:表現)
 - III 考えを見えるかたちにする。(記述・文章化)
 - III 情報として活用する。

小グループ活動を取り入れた

指導方法の工夫

- ① 全体では聞きにくいこともグループであれば聞きやすくなり、理解につながる。
- ② 他の人の意見を聞くことで、新たな発見や自分の考えをまとめる等、思考や解釈につながる。
- ③ 多くの生徒が表現する場がもてる。

小グループ活動



自己実現プログラム

年	15のちの学習し「総合的な学習の時間」	達成・つぎたい方
一 学 年	特別支援【1学期】 ① 自分いらい人 ② 友達や先生と関わる(仲良くい)ち ③ 平和を知ら【1学期】 ④ センソロジーと関わる(手、指、指、指)	自己理解(自己肯定・ 安心感) 他者理解 コミュニケーション能力 情報収集能力 自己表現力
二 学 年	特別支援【1学期】 ① 仲良く関わる(仲良くい)ち ② 平和を知ら【1学期】 ③ 平和を知ら【1学期】 ④ 平和を知ら【1学期】	自己理解(自己肯定・ 安心感) 他者理解(道徳感) 自己表現力 コミュニケーション能力 生活判断力 コミュニケーション能力
三 学 年	特別支援【1学期】 ① 自分いらい人 ② 友達や先生と関わる(仲良くい)ち ③ 平和を知ら【1学期】 ④ 平和を知ら【1学期】	自己理解(自己肯定・ 安心感) 他者理解(道徳感) 自己表現力 コミュニケーション能力 自己理解・他者理解 自己表現力

成果
 ①「平和」(道徳教育)について積極的な学習内容が充実した。
 ②「情報収集」(道徳)を安心して学習できる状態)のもと、科学的な手段を取り入れた学習内容が充実できた。
 ③生徒が自ら「自己理解」(他者理解)に必要なスキルを生活の中で実践できるように、総合的な学習の時間などの体験活動と道徳の時間などの連携をより深め、教育活動全体で道徳教育に繋がる必要がある。

課題

- ①自己理解・他者理解に必要なスキルが生活の中で十分生かされていない。
- ②小グループが十分活用されていない。(学習規律・仲間との信頼関係が不十分)

研究主題

自らを振り返り、
 相互理解を深めることで
 自他を尊重できる生徒の育成
 ~多様な価値観と触れ合い、
 自己表現の改善を通して~

研究仮説

- ①総合的な学習の時間と道徳の時間の連携を図った学習プログラムを行うことで、自他を尊重できる生徒を育成できるだろう。
- ②道徳の時間における中心発問の工夫、ワークシートや小グループの活用をすれば、生徒は多様な価値観とふれ合いながら、自己表現を改善し、自他を尊重する心を育むことができるであろう。

研究指標

①アンケートによる意識調査
意識の量的変容

②道徳の時間のワークシートに記入した記述内容の調査
意識の質的変容

本校の具体的実践

仮説①

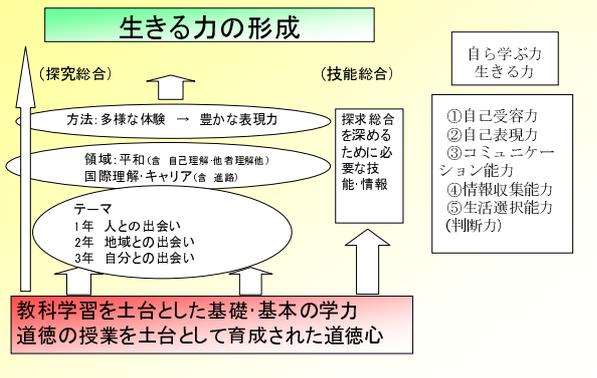
学習プログラムの作成



総合的な学習の時間と道徳の時間の連携

自他を尊重できる生徒の育成

図1：幡町中学校の「総合的な学習の時間」との連携による学力概念図



学習プログラム

期	教科・特別活動	連携の時間	連携活動	連携後の意義の浸れ
10月	総合的な学習の時間 「誇りある未来」準備 集会・体験活動	①道徳 誰かのために 他人の思いやりの 気持ちをもつて授業 に取り組む。	家庭 平和集会・自 他への思いや りをもつての 気持ちをもつて 授業に取り組 む。	①3年間の学習の 軌跡を振り返 り、平和集会に 参加して、自 己の成長を感 ずく。
11月	総合的な学習の時間 「誇りある未来」準備 集会・体験活動	②道徳 人権と100 年を振り返る 世界平和に貢献 しようとする意 志を育てる。	家庭 平和集会・自 他への思いや りをもつての 気持ちをもつて 授業に取り組 む。	②広島の平和 集会に参加し て、世界平和 を考えたこと を振り返る。
12月	総合的な学習の時間 「誇りある未来」準備 集会・体験活動	③道徳 生命尊重 自分自身を尊重 する態度を養う。	家庭 平和集会・自 他への思いや りをもつての 気持ちをもつて 授業に取り組 む。	③命の大切さ を学ぶこと を振り返る。

図1 平成20年度 第3学年10月学習プログラム

年間道徳教育計画

学年	道徳の時間	総合的な学習の時間	連携の時間	連携活動	連携後の意義の浸れ
1年	道徳の授業	総合的な学習の時間	道徳の授業	総合的な学習の時間	道徳の授業
2年	道徳の授業	総合的な学習の時間	道徳の授業	総合的な学習の時間	道徳の授業
3年	道徳の授業	総合的な学習の時間	道徳の授業	総合的な学習の時間	道徳の授業

本校の具体的実践

仮説②

その1

中心発問の工夫



道徳性の質の深まり

心情曲線

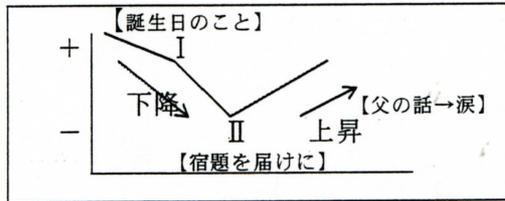


図2 資料における主人公の心情曲線

本校の具体的実践

仮説②

その2

ワークシートや小グループの活用



多様な価値観と触れ合う

自己表現や相互理解

自他を尊重できる心

ワークシート

本校の具体的実践

仮説①②

研究指標についての工夫

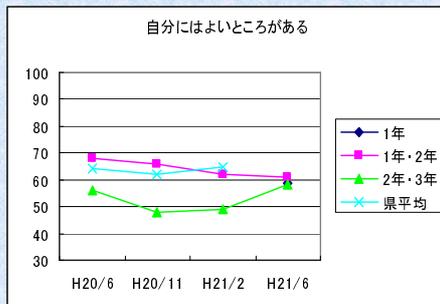


意識調査による数値の変化

記述内容による質の変化

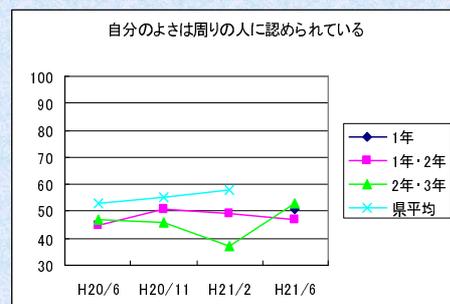
分析(意識調査より)

○自尊感情に関する項目



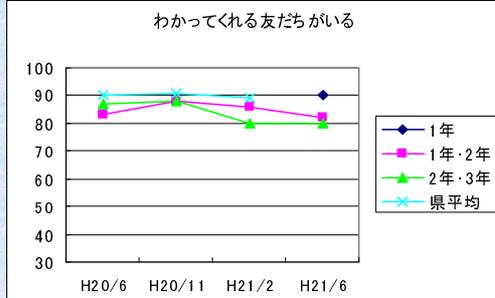
分析(意識調査より)

○自尊感情に関する項目



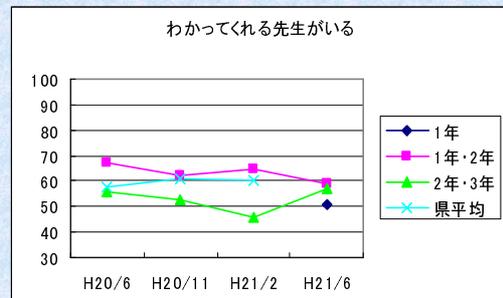
分析(意識調査より)

○相互理解に関する項目



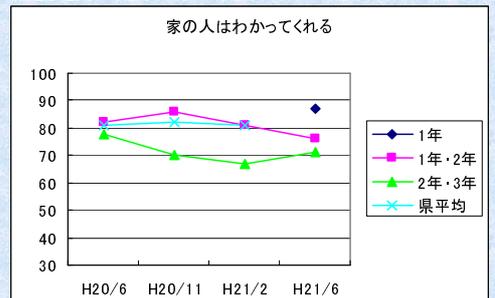
分析(意識調査より)

○相互理解に関する項目



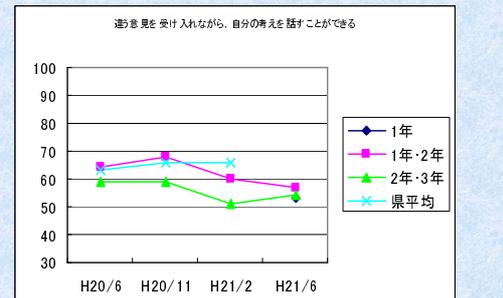
分析(意識調査より)

○相互理解に関する項目



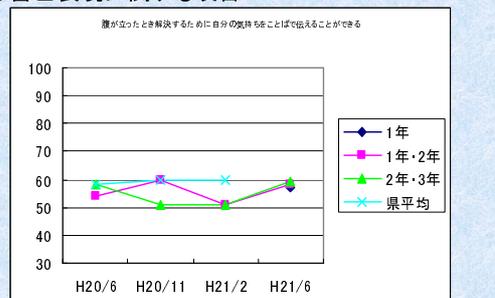
分析(意識調査より)

○自己表現に関する項目



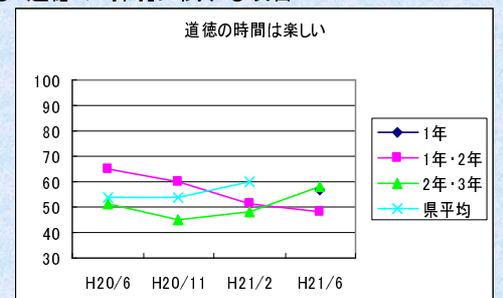
分析(意識調査より)

○自己表現に関する項目



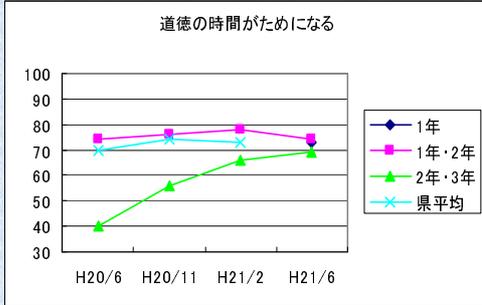
分析(意識調査より)

○「道徳の時間」に関する項目



分析(意識調査より)

○「道徳の時間」に関する項目



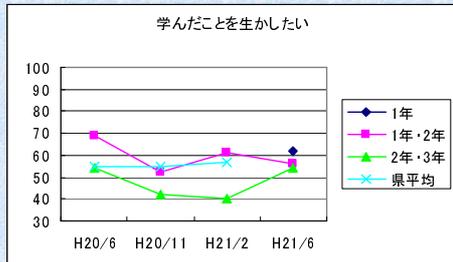
分析(ワークシートより)

○4月と9月の変容



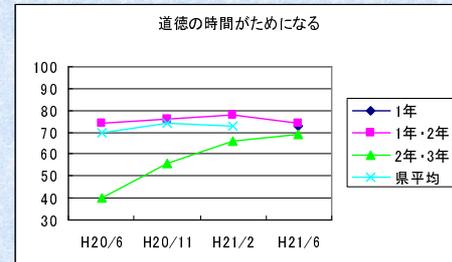
これまでの成果

①「道徳の時間で学んだことを生かそうとする」生徒の増加



これまでの成果

①「道徳の時間で学んだことを生かそうとする」生徒の増加



体育祭



平和集会



体験活動後の感想(抜粋)

【体験活動(6月体育祭)後の感想文より】

今年のNPは成功したと思います(生徒意識調査)1%が達成。理由は、みんなが真剣に取り組んでいたからです。B学級は優勝できなかったけど、みんなちゃんとやり私も全力でできたからです。優勝の喜びはもてなかったけど、全力でやった良い思い出はもてたので良かったです。Nの笑顔、打ち上げの笑顔もみんな楽しかったと思います。(1年生)

このNPで得たものは「友情」。始め、廻められの繰り返し、でも誰も他の人を責めなかった。みんなの笑顔に気づいたら、もう頑張るが得たのは、「一人一人の個性が輝いている。みんなが頑張っている姿が、今年行進曲が増えて、みんなが足と手をそろえて歩いたのはカッコ良かったです。(2年生)

全体練習や学年練習、縦列練習の時には全員で取り組む事ができませんでした。でも当日は全員で参加しました。また、整列も練習の時から早く、本番でも変わらなかった。全員が、自分のもてる力を発揮し、全力で競技に取り組む、大きな声を出して応援しました。全学年全員で力を合わせて頑張りました。優勝できなかったけど、今年NPは自分の力が出たので良かったです。今年NPは自分の力が出たので良かったです。今年NPは自分の力が出たので良かったです。(3年生)

今年のNPでは、元気がいっぱいあって楽しく参加できたのでとても良いNPになったと思います。縦列練習の大観戦では、縦列練習でみんなが集まらず、ほとんど練習なしで本番となりました。そして、結果は思ったとおり3位でした。でも、この経験があったので、練習をせずに本番を乗り切ることはできないということを知りました。3年生全員が参加する練習では、みんな声をいっぱい出して頑張っていたけど、大人数の問題などでいろいろあって全取してしまいました。みんなの力を合わせて頑張ることができて、とてもうれしかったです。男子の練習は、練習で一番遅い練習になった練習では、最後の一番遅い練習でみんなが協力してできました。Nの笑顔を見た後の打ち上げでは、みんなが協力して打ち上げることができて、とてもうれしかったです。今年NPは自分の力が出たので良かったです。(3年生)

準備、片付けもきちんとできた

あなたのせいじゃないよ

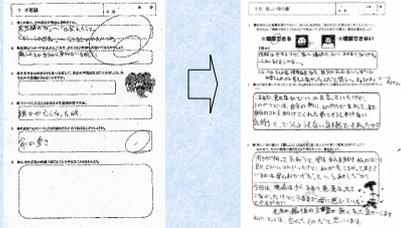
力を合わせてがんばりました

もっとよくなるはず

練習をせずに本番を乗り切ることはできない

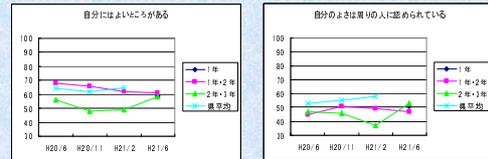
これまでの成果

- ①「道徳の時間で学んだことを生かそうとする」生徒の増加
- ②「道徳」に意欲的に取り組む生徒の増加



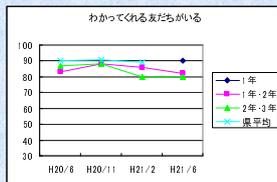
これまでの成果

- ①「道徳の時間で学んだことを生かそうとする」生徒の増加
- ②「道徳」に意欲的に取り組む生徒の増加
- ③「自尊感情」の育成



これまでの課題

- ①「わかってくれる友だちがいる」の項目が伸びていない



- ②生徒相互の意見交流が十分でない

改善方策

小グループでの話し合いのシステム化

【組での話し合いの仕方】
 みんなの考えたことを出し合い、グループの意見をまとめよう。

話し合いの方法
 ○司会：記録者、発表者を決める。（座席順にしたがって）
 ○記録者は、発表者が後で発表しやすいようにキーワードをメモしよう。

- 全員が順番に意見を発表**
 司会：〇〇さんから順番に意見を言ってください。
 组员：自分の意見は（ ）です。
 その理由は、（ ）だからです。
- 自由討議**
 司会：賛同や意見をお願いします。
 组员：〇〇さんの×××という意見（理由）に対して
 ・それは思わない
 ・もっと詳しく教えて
 ・思った
 ・なるほどと思った など
 そして、自分がどのように感じた理由やつけたしを言う。
- 意見発表**
 司会：私たちのグループでは（ ）の意見を発表しますが、どうですか。
- 意見発表**
 発表者：私たちのグループでは、（ ）のような意見ができました。
 その理由として、（ ）といったものが出ました。

